

## 1. しまね環境基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	270,652,496	
	内訳	うち、国費相当額	135,326,248
		うち、地方負担相当額	135,326,248
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	27,252	
③	その他収入	205	積残し (H30利息)
④	負担附寄附金等		
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	15,561,931	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	255,118,022	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	127,559,011
		うち、地方負担相当額	127,559,011
		うち、負担附寄附金等	

## 2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		255,118,022	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		156,849,000	
⑩	保有割合		1.63	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠  
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)  
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

## 3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	自然公園等ボランティア支援事業	300,000		300,000		20%	500,000	4,000,000
2	希少性動植物等普及啓発事業	1,249,983	2,183	1,247,800		40%	1,300,000	3,900,000
3	見える化によるライフスタイルの転換促進事業	2,255,231		2,255,231		19%	1,000,000	23,820,000
4	親子で取り組む環境活動促進事業	1,400,000		1,400,000		43%	1,200,000	8,200,000
5	エコな集いの場所づくり事業	969,307	24,307	945,000		20%	900,000	7,515,000
6	地球温暖化防止活動推進員の連携強化事業	1,660,000		1,660,000		46%	1,500,000	17,600,000
7	環境保全活動支援事業	1,583,000		1,583,000		17%	3,000,000	38,000,000
8	しまねのエコライフ情報発信事業	2,920,000		2,920,000		16%	2,500,000	38,900,000
9	住まいの省エネ推進事業	510,000		510,000		12%	100,000	3,950,000
10	水鳥による環境保全意識の啓発と湖沼の賢明利用の推進	3,015,000	274,100	2,740,900		20%	2,741,000	10,964,000
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		15,862,521	300,590	15,561,931			14,741,000	156,849,000

## 4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	2020年度に県内のエネルギー使用量を1990年度に比べ8%以上削減	
成果実績	▲6.9%	
目標値	▲8% (1990年比)	
達成度	86%	

事業番号①

## 令和元年度 事業報告書

事業名	自然公園等ボランティア支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然とのふれあいの推進	開始年度	平成26年度
担当部署	環境生活部自然環境課	終了年度	令和9年度

### 1. 目的及び目標（値）

**【目的】**  
ボランティア団体や地域団体等が中心となり実施される自然保護活動を通じて、県民の自然保護意識及びボランティア活動の拡大を図る。

**【目標】**  
貴重な自然環境を有する地域である自然公園等において、2カ所／年の事業を実施する。

### 2. 概要

ボランティア団体や地域団体等が中心となり実施される自然保護の普及・啓発に資する活動を支援する。

### 3. 根拠法令等

島根県環境基本条例

### 4. 実施内容等

自然保護普及・啓発活動の支援（事業委託）  
事業主体：県から業務を受託した、ボランティア団体・地域団体等  
事業内容：自然保護の普及・啓発活動  
対象経費：イベント開催経費（講師謝金・旅費含む）、PR経費（普及啓発パンフレット・グッズ作成費等）  
など活動に必要な経費

○1 団体に以下のとおり委託し、事業を実施した。

- 1 業務名 竜頭八重滝県立自然公園における自然体験活動等委託業務
- 2 目的 竜頭八重滝県立自然公園において、自然体験活動を実施するとともに、普及啓発リーフレットを作成することで、自然保護の普及・啓発を図る。
- 3 委託期間 令和元年7月17日～令和2年2月28日
- 4 業務内容  
(1)自然体験活動の実施（経費：講師謝金、イベント用備品費 等）  
(2)普及啓発リーフレットの作成

## 令和元年度 事業報告書

事業名	希少野生動植物等普及啓発事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然とのふれあいの機会の増進	開始年度	平成30年度
担当部署	環境生活部自然環境課	終了年度	令和4年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

自然や生き物を守る大切さなどの普及啓発や情報発信を行い、生物多様性の確保、自然保護や環境保全に対する県民の意識・関心の向上を図り、生物多様性の主流化を推進する。

## 【目標】

しまねレッドデータブック掲載種のうち、人との関わりや生き物の繋がりを意識できる種を選び、5か年で情報発信を行う。

- H30 鳥類
- H31 植物
- H32 昆虫類
- H33 哺乳類・両生類・爬虫類
- H34 魚類・甲殻類

## 2. 概要

しまねレッドデータブック掲載種等の希少野生動植物の状況や、それらの保全活動事例をわかりやすく紹介するリーフレット・テレビ番組・ビデオを制作し広報することにより、県民の理解を深めて自発的な保全活動を促進する。なおリーフレット等は、生活環境周辺の豊かな生態系と生き物に関心に向け、県民一人一人が自分たちに何ができるかなどを考える契機となるような内容とする。例えば、コウノトリの営巣（H29雲南市で営巣）から地域の生物の豊かさの再認識や農業との関わり、ダイコクコガネ（県条例指定種・しまねRDB絶滅危惧Ⅰ類）をはじめとする糞虫類と放牧事業との関わり、ミナミアカヒレタビラ（県条例指定種・しまねRDB絶滅危惧Ⅰ類）をはじめとした淡水魚と生活排水や河川整備との関わりなどを紹介する。

## 3. 根拠法令等

島根県環境基本条例  
島根県希少野生動植物の保護に関する条例

## 4. 実施内容等

県内の希少野生動植物等の紹介・保全に関する普及啓発リーフレット・テレビ番組・ビデオを制作し広報した。希少野生動植物の特徴や保護について分かりやすく紹介するため分野別に制作した。なお、令和元年度は、植物に関する普及啓発を重点的に行った。

リーフレット等の配布先等は次のとおり。

- (1) リーフレット  
小学校など教育機関、公共事業担当機関（県・市町村）、農林水産業関係団体、環境関係団体 等に配布した。
- (2) テレビ番組・ビデオ  
テレビ番組は、地域密着型のきめ細かなコンテンツ制作及び県内での放映が可能な、ケーブルテレビを活用した。ビデオはテレビ番組を元に制作し、県・市町村の教育委員会・図書館等に配布する。また、本事業以外の関連イベントへの映像提供など様々な機会を活用して情報発信した。

## 令和元年度 事業報告書

事業名	見える化によるライフスタイルの転換促進事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b>  診断士が実施する家庭エコ診断により、各家庭のエネルギー消費状況を見える化するとともに、ライフスタイルに応じたエネルギー使用量の削減対策を提案して実際の省エネ行動を促すことで、家庭におけるエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減を進める。  また、環境配慮行動に興味・関心を持った県民は関連事業※のボランティア登録制度にステップアップしてもらうことで、地域における環境保全活動を推進する。</p> <p>※関連事業：エコなつながりづくり事業</p> <p><b>【目標】</b>  再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画（島根県H27.9月策定）の省エネ行動目標 ※キッチン10項目、居室19項目、バス・トイレ9項目、自動車等8項目、買い物3項目、について、行動レベルB、Cのものについては引き上げ、行動レベルAのものについては現状維持を目標とする  ※概ね5年ごとにアンケート調査を実施し、成果を把握する</p>
---

## 2. 概要

環境省の家庭エコ診断制度を活用した家庭の省エネ推進
---------------------------

## 3. 根拠法令等

環境基本法、島根県環境基本条例、地球温暖化対策の推進に関する法律 等
------------------------------------

## 4. 事業内容等

<p>(1) うちエコ診断実施  診断実施機関に対して診断実施経費の補助を行った。また、しまね自然と環境財団とともに、診断実施機関との連絡調整会議を開催した。</p> <p>(2) 制度等広報  ①概要 うちエコ診断を広く県民に周知し、受診者拡大を図るため、うちエコ診断について説明したチラシや診断の流れや診断内容を分かりやすく記載した、パンフレットを作成し、企業に配布した。  ②配布数 （企業向けチラシ）3,800枚</p> <p>(3) 診断士のスキルアップ研修  ①概要 うちエコ診断を円滑に実施し、診断内容の向上を図るため、県内の診断実施事務局に登録している診断士を対象に、診断ソフトのバージョンアップにあたっての対応方法やデータの取り扱い、診断技術の向上などについて研修を行った。  ②実施日 令和元年5月21日(火)  ③場所 石中央文化ホール（浜田市）  ④参加者数 8名</p> <p>(4) 診断士の養成  うちエコ診断資格運営事務局（一般社団法人地球温暖化防止全国ネット）が実施する、うちエコ診断士資格試験の実施に伴い、県内のうちエコ診断実施機関を窓口、資格取得を希望する者を募集した。希望者については、資格試験受験にかかる事前学習や受験にかかる手続き等を支援し、2名が受験し、うち1名が資格を取得した。</p>
---

## 令和元年度 事業報告書

事業名	親子で取り組む環境活動促進事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成27年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

地域における環境配慮行動を促進するために、幼・保育園の未就学児や小学校の児童を対象とした普及啓発の取り組みを行うことは、その保護者である比較的若年層の成人や、これらの園児や児童を孫にもつ高齢者などにも影響が大きく、幅広い年齢層への波及効果がある。そこで、これら未就学児や児童とその保護者を対象とし、親子で簡単に取り組めるわかりやすい環境配慮行動を促すワークシートを配布し、地域における環境活動への取り組みを促す。

また、関連事業※により、幼・保育園協力のもと、地球温暖化防止活動推進員と協働でミニエコ講座を実施することで、地域の環境活動を担う人材を育成し、地域における環境保全活動を推進する。

※関連事業：地球温暖化防止活動推進員等の連携強化事業

## 【目標】

親子で取り組む環境活動実施数（幼・保育園等数）：50園/年

## 2. 概要

幼・保育園児、小学生とその親を対象とした学習機会の提供

## 3. 根拠法令等

環境基本法、島根県環境基本条例、地球温暖化対策の推進に関する法律 等

## 4. 事業内容等

## (1) 幼・保育園児向けワークシート等の作成と配布

①概要 幼稚園児、保育園児とその保護者に家庭内で省エネに取り組めるよう、「しまねっことチャレンジ」ワークシートを

製作し、希望する幼稚園及び保育園に配布した。実施したワークシートは回収し、取組結果をとりまとめた。

②実施期間 平成31年4月～令和2年2月

③実施園 62園（参加園児数：1,852名、ワークシート回収数：723枚）

④削減量 1,384kg-CO2

## (2) 小学生向けワークシート等の作成と配布

## ①松江市内での取組

ア 概要 松江市内の小学校4年生を対象に省エネワークシートを配布し、家庭における省エネ行動を促した。

イ 実施期間 令和元年7月～令和元年9月

ウ 実施校 33校（参加者数：1,780名、ワークシート回収数：1,305枚）

エ 削減量 4,513kg-CO2

オ 推進員 のべ 27名が活動

## ②浜田市内での取組

ア 概要 浜田市内の小学校4年生を対象に省エネワークシートを配布し、家庭における省エネ行動を促した。

イ 実施期間 令和元年12月～令和2年1月

ウ 実施校 16校（参加者数：420名、ワークシート回収数：325枚）

エ 削減量 1,002kg-CO2

## 令和元年度 事業報告書

事業名	エコな集いの場所づくり事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b> 各家庭での冷暖房を消して地域の人が集まり、楽しみながら涼や暖を分かち合うクールシェア・ウォームシェアを推進することにより、家庭におけるエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減を進める。 また、関連事業※により、クールスポット・ウォームスポットを活用し、地球温暖化防止活動推進員や事業者との協働で環境セミナーやキャンペーン等を実施することで、地域における環境保全活動を推進する。</p> <p>※関連事業：地球温暖化防止活動推進員等の連携強化事業（環境基金充当） 環境に配慮した消費行動への転換促進事業（独自財源充当）</p> <p><b>【目標】</b> 再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画（島根県H27.9月策定）の省エネ行動目標 ※キッチン10項目、居室19項目、バス・トイレ9項目、自動車等8項目、買い物3項目、について、行動レベルB、Cのものについては引き上げ、行動レベルAのものについては現状維持を目標とする ※概ね5年ごとにアンケート調査を実施し、成果を把握する</p>
---

## 2. 概要

<p>各家庭での冷暖房を消して、地域の人が「しまエコスポット」に集まることにより、楽しみながら涼や暖を分かち合う、クールシェア・ウォームシェアを推進するため、島根県ならではの豊かな自然や人の温かさを生かした“しまね流”のスポット「しまエコスポット」に集うことで、節電対策や熱中症予防はもとより、人と人との交流を深める地域コミュニティの場づくりの促進を図っていく。</p>
---

## 3. 根拠法令等

<p>環境基本法、島根県環境基本条例、地球温暖化対策の推進に関する法律 等</p>
---

## 4. 事業内容等

<p>(1) しまエコスポット登録施設の募集、管理 ※ しまエコスポットとは、クールシェア・ウォームシェアをするのに適した場所のことで、下記の施設を想定する。 公共施設：図書館、美術館、コミュニティセンター、公園など 滞在型施設：温泉、ショッピングセンターや商店街の無料休憩所など 商業施設：飲食店、物販店、映画館など</p> <p>(2) しまエコスポット、クールシェア等の広報 ・ 期間を設定して各種媒体によりクールシェア等の広報を行った。 ・ 登録施設へは県民の目に留まるよう、のぼりやチラシを配布した。</p>
---

## 令和元年度 事業報告書

事業名	地球温暖化防止活動推進員等の連携強化事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成25年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

地球温暖化についての知見を備え、家庭における省エネ行動等に関する普及啓発を行う島根県地球温暖化防止活動推進員の活動や、環境保全活動に自主的に取組む学生（大学、短大、高専等）グループの活動を支援することで、一般県民への普及啓発を行うとともに、多くの県民が環境保全活動に参加できる機会を提供し、地域における活動を推進する。

## 【目標】

地球温暖化防止活動推進員や学生を中心とした活動グループ数：10グループ/年

## 2. 概要

- (1) 島根県地球温暖化防止活動推進員が中心となって行う地域に根ざした環境保全活動に対する支援  
(2) 学生が地域の環境保全に取組む団体（NPO等）や住民と連携して行う環境保全活動に対する支援

## 3. 根拠法令等

環境基本法、島根県環境基本条例、地球温暖化対策の推進に関する法律 等

## 4. 事業内容等

(1) 研修等による推進員等の活動支援

## ①推進員の能力向上

新規推進員の養成や既存の推進員の活動に必要な資質や知識、スキルの向上を図るため、研修やセミナーを企画するとともに、外部研修へ推進員の派遣を行った。

## ア. 研修「推進員SDGs研修」

概要：SDGsの背景にある現状や課題を学び、自分たちができる実践的な取り組みを考え、SDGs達成のための行動へつなげるため、推進員が自ら企画し、SDGsについて学ぶ研修を実施した。

実施日：令和2年1月17日（金）

場所：島根県立男女共同参画センター（あすてらす）研修室1

参加者数：22名

## イ. 研修「SDGsミーティング in 大田」

概要：令和2年1月17日に実施した「推進員SDGs研修」の参加者を対象に、SDGsをより身近で具体的な取り組みと結びつけて考えるとともに、地域の様々な課題解決のための共通の視点づくりにつなげるため、推進員の活動事例を題材に、SDGsのより深い理解と自分事化を図るワークショップを実施した。

実施日：令和2年2月19日（水）

場所：島根県立男女共同参画センター（あすてらす）研修室1

参加者数：11名

## ウ. 意見交換会「広島県推進員との意見交換会」

概要：広島県と島根県で活動する地球温暖化防止活動推進員が、お互いの活動を相互に学び合い、優良な活動事例を各県で広めていくために、それぞれの地域において特徴のある取り組み、活動の成功例などについての情報交換を行った。

実施日：令和元年10月30日（水）

場所：出雲市民会館 302研修室

参加者数：8名

令和元年度 事業報告書

事業名	地球温暖化防止活動推進員等の連携強化事業	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成25年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

②推進員の活動支援  
 県内で活動する島根県地球温暖化防止活動推進員が連携し、地域での温暖化防止活動を主体的に企画・実施できるように、推進員のネットワーク化と活動支援を行った。

ア. グループ間の情報共有  
 概要：推進員が連携し、より地域に密着した温暖化防止活動を促進するため、「しまねエコライフサポーターズ連絡会」などで情報を共有しながら、活動を行った。  
 活動グループ：地域グループ（松江・奥出雲・出雲・大田・浜田）  
 テーマ別グループ（しまねMEETS SDGs・島根版脱炭素事例集作成グループ「あいと地球」応援団）  
 連絡会の実施：第1回 実施日：令和元年4月11日  
 内容：サポーターズ代表・副代表の選任  
 平成30年度の活動報告（浜田）  
 平成31年度の活動計画（大田・奥出雲）  
 テーマ別グループについて  
 第2回 実施日：令和元年5月27日  
 内容：サポーターズ代表（伊藤）・副代表（大橋・藤原）の選任  
 令和元年度の地域グループ活動計画（大田）  
 令和元年度のテーマ別グループの活動計画  
 しまねMEETS SDGs・島根版脱炭素事例集作成グループ  
 令和元年度実施報告（奥出雲）  
 第3回 実施日：令和元年6月27日  
 内容：令和元年度の地域グループ活動計画（出雲・松江）  
 令和元年度のテーマ別グループの活動について  
 （しまねMEETS SDGs・島根版脱炭素事例集作成グループ「あいと地球」応援団）  
 第4回 実施日：令和元年11月11日  
 内容：令和元年度のテーマ別グループの活動について  
 （しまねMEETS SDGs・島根版脱炭素事例集作成グループ）

イ. グループによる活動  
 概要：地域に密着した温暖化防止活動を行うため、居住市町村もしくは隣接する地域で地域グループを構成したり、同じテーマで集まってテーマ別グループを構成した推進員が連携し、主体的に活動を企画・実施した。  
 活動にあたっては、各グループが企画書及び予算書を作成し、連絡会で合意形成を図った後、活動を実施した。財団は、事務局として経費の執行や事務処理等を行うことで、グループの円滑な活動を支援した。  
 活動内容：（松江）地域イベントでの地球温暖化の普及啓発、幼稚園・保育園でのミニエコ講座の実施、松江市内小学校での省エネチャレンジシート協力、打ち水大作戦などの県普及啓発事業への協力（奥出雲）地域の女性学級で温暖化防止の啓発。地域イベントでの地球温暖化の普及啓発、町報に毎月普及啓発コラムの寄稿、掲載  
 （出雲）ゴミ減量、生ごみ堆肥化の勉強会、お財布にやさしい温暖化防止をテーマとした一般向け講演会の企画・実施、コミュニティーセンターでのロケットストロブ作りの企画・実施（SDGs）推進員に対してSDGsについて説明をする研修を実施  
 （事例集）推進員が各学校に取材・執筆し、脱炭素事例集を作成

③しまエコユースサポーターの活動支援  
 若年層による普及啓発効果を期待し、多様な世代との活動の連携を促進するため、県内の大学において環境保全等の活動を行うサークルをしまエコユースサポーターに登録し、活動支援を行うとともに、その活動をWEBコラムなどを用いて情報発信を行った。

ア. サポーターの活動支援  
 概要：しまエコユースサポーターに登録したサークルが、環境保全活動を行う際に、活動内容を取材するとともに、活動にかかる経費の一部について支援を行った。  
 登録団体数：7団体（水辺のビオトープ研究会、島根大学木質バイオマス活用研究会島根大学エコロジー・ネットワーク、環境倶楽部「しまえっこ」、島大エネルギーの会、島根大学環境委員会、島根環境保全の会）  
 内容：（団体名）水辺のビオトープ研究会  
 活動内容：①令和元年6月22日（土）開催「キャンドルナイト松江2019」にボランティア参加  
 （団体名）島根大学木質バイオマス活用研究会  
 活動内容：①令和元年6月22日（土）開催「上意東ホテル祭り」にて、竹灯籠作り体験のブース出展と、緑の募金の実施、植樹祭の宣伝  
 ②令和元年11月4日（祝月）開催「2019松江市環境フェスティバル」エコサポしまねのブースを補助  
 （団体名）島根大学エコロジー・ネットワーク  
 活動内容：①令和元年8月3日（土）環境倶楽部しまえっこ、浜田市地域ボランティアと共に「ハッチョウトンボ公園の草刈り」実施  
 （団体名）環境倶楽部「しまえっこ」  
 活動内容：①令和元年8月7日（水）中国地方ESD活動支援センター主催「高校生のためのESDユースワークショップ」参加

(2) 活動経費支援  
 ・推進員が個人またはグループで行う地域に根ざした環境保全活動に要する経費を支援する  
 ・学生が地域の環境保全に取組む団体（NPO等）や住民と連携して行う環境保全活動に要する経費を支援する

## 令和元年度 事業報告書

事業名	環境保全活動支援事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境保全費	開始年度	平成18年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 第2期島根県環境基本計画に掲げた持続可能な地域づくりを促進するため、多様な主体による「参加と協働による地域づくりの推進」に取り組む</p> <p>【目標】 助成金交付件数 10件/年</p>
---

## 2. 概要

<p>第2期島根県環境基本計画の重点施策の推進に掲げた県民の主体的な環境保全活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのふれあいの推進</li> <li>・生物多様性の確保</li> <li>・水環境の保全</li> <li>・森林、農地、漁場の保全と活用</li> <li>・環境への負荷の少ない循環型社会の構築</li> <li>・地球温暖化対策の推進</li> <li>・環境学習の推進</li> </ul>
--

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境基本法</li> <li>・島根県環境基本条例</li> </ul>
--

## 4. 事業内容等

<p>(1) 環境保全活動支援事業 第2期島根県環境基本計画に掲げる重点施策を推進するための環境保全活動に対する支援</p> <p>①対象団体 構成員10人以上の環境保全活動実践団体（地域住民グループの任意組織、NPO法人など）</p> <p>②対象事業 環境保全（第2期島根県環境基本計画に掲げる重点施策に限る）の実践活動</p> <p>③補助額 補助率2/3、上限額80万円</p> <p>④募集状況</p> <p>ア. 平成31年度募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間 (1次) 平成30年9月18日～11月16日、(2次) 平成31年3月1日～5月10日</li> <li>・実施期間 平成31年4月1日～令和2年2月29日</li> <li>・広 報 募集チラシ及び申請の手引きの配布 2,800部</li> <li>・説明会 4月に6会場(松江、出雲、浜田、益田)において助成金合同説明会を開催。</li> <li>・審査会 (1次) 平成31年2月19日、(二次) 令和元年6月13日</li> <li>・助成実績 5団体</li> </ul> <p>イ. 令和2年度募集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間 令和元年11月1日～12月27日</li> <li>・実施期間 令和2年4月1日～令和3年2月28日</li> <li>・広 報 募集チラシ及び申請の手引きの配布 1,700部</li> <li>・説明会 10月に3会場(松江、浜田、西ノ島)において助成金合同説明会を開催。</li> <li>・審査会 令和2年3月3日</li> <li>・助成実績 5団体（令和2年3月に内示、4月に交付決定）</li> </ul> <p>(2) 審査会開催</p>
--

## 令和元年度 事業報告書

事業名	しまねのエコライフ情報発信事業	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	平成30年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

県民（特に若い世代）に対して、エコライフに関する情報を各種媒体によりわかりやすく情報提供し、環境負荷の低いライフスタイルへの転換を促すことで、家庭におけるエネルギー使用量及び温室効果ガス排出量の削減を進める。  
また、環境配慮行動に興味・関心を持った県民は関連事業※の家庭エコ診断制度やボランティア登録制度にステップアップしてもらうことで、地域における環境保全活動を推進する。

※関連事業：見える化によるライフスタイルの転換促進事業（環境基金充当）  
エコつながりづくり事業（独自財源充当）

## 【目標】

再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画（島根県H27.9月策定）の省エネ行動目標  
※キッチン10項目、居室19項目、バス・トイレ9項目、自動車等8項目、買い物3項目、について、  
行動レベルB、Cのものについては引き上げ、行動レベルAのものについては現状維持を目標とする  
※概ね5年ごとにアンケート調査を実施し、成果を把握する

## 2. 概要

自然に受け入れられ、継続的な行動につながるきっかけとなる情報の提供による家庭の省エネ推進

## 3. 根拠法令等

環境基本法、島根県環境基本条例、地球温暖化対策の推進に関する法律 等

## 4. 事業内容等

## (1) しまねのエコライフ情報発信事業

県民に環境負荷の少ないライフスタイルへの転換や持続可能な地域づくりへの理解を促すため、農業や定住、地域経済など多様な分野で活躍し、県内で注目を浴びる人材を取材対象とし、しまねへの愛着やライフスタイルの有り様と合わせ、自然観や環境観を引き出すことで、環境に対して興味が薄い若年層をはじめ、様々な対象に対して関心を高める情報を発信した。

## ①SNSを用いた情報発信

概要：今まで情報が行き届きにくい対象への発信力を高めるため、FacebookやTwitterなどSNS（ソーシャルメディア）を活用し、県内の環境情報を発信した。

実施数：（Facebook）週1回程度  
（Twitter）2日に1回程度

内容：当財団が実施する環境事業や島根県の環境施策、県内外の注目度が高い環境に関する情報をわかりやすく発信

## ②WEBコラムによる情報発信

概要：地域に根ざした暮らしや地域活動を行う人材を対象に取り上げ、その暮らしぶりや地域への関わりなどを取材するとともに、自然や環境に対する思いについて、SNSやブログなどでWEBコラムとして発信した。また、取り組みに応じてSDGsのアイコンを表示し、地域における持続可能な取り組みへの関心を高めることができるよう工夫した。

タイトル：「しまねを楽しみ、未来へ繋ぐコラム」

掲載HP：エコサポしまねホームページ

<http://www.nature-sanbe.jp/eco/information.html>

内容：「大根島パワー！！元気な島を未来に繋ぐ」：(株)ふぁーむ大根島 代表取締役 豊島美紀さんほか9名

## ③ケーブルテレビでの番組制作と放映

概要：WEBコラムに掲載した記事からテーマを抜粋し、同一内容で映像を制作し、ケーブルテレビで放映を行った。番組は、島根県ケーブルテレビ協議会のネットワークを介して、県内のケーブルテレビ網に配信を行った。

タイトル：「しまねFuture2030」

内容：「しまねFuture2030 第4作 世界とつながるしまねの海」（9月、大田市）

「しまねFuture2030 第5作 千年つなぐ秋の実り」（1月、出雲市）

放映先：ぎんざんテレビ（大田市）、あまコミュニティチャンネル（海士町）、やなぎどじょこテレビ（安来市）、マーブル（松江市）、雲南夢ネット（雲南市、飯南町）、まげなねっと（川本町）、おおなんケーブルテレビ（邑南町）、石見ケーブルビジョン（浜田市）、ひゃこねネットみすみ（三隅町）、ひとまるビジョン（益田市）

## ④紙媒体を用いた情報発信

概要：WEBコラムに掲載した記事の中でもページビュー数が多く、掲載する雑誌がターゲットとする読者に適した内容を抜粋し、同一内容で雑誌向けに再構成を行い掲載した。

掲載誌：さんいんキラリ（有限会社グリーンフィールズ）

内容：「大根島パワー！！元気な島を未来に繋ぐ」 豊島美紀さん（(株)ふぁーむ大根）

## (2) 住まいの省エネ情報発信

11月に2回開催したイベント「DIYでもできる！エコリフォームワークショップ」を取材し、レポート記事をWEBページにて公開することで、県民に自分で取り組む住まいの断熱対策や省エネへの着手を促すと共に、地域の工務店を利用することで、地域で経済を循環させる取り組みを考える機会を提供した。

①冬でも暖かく過ごせるお家のづくり方Vol.1（2月中旬公開）

②冬でも暖かく過ごせるお家のづくり方Vol.2（3月上旬公開）

③冬でも暖かく過ごせるお家のづくり方Vol.3（3月下旬公開）

## 令和元年度 事業報告書

事業名	住まいの省エネ推進事業	新規・継続区分	新規
事項名		開始年度	平成31年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 【目的】

法的に規制のない既設住宅の省エネルギー化を促進するため、エネルギー消費の大きい給湯・暖房にかかる設備更新と断熱対策などの省エネ改修の必要性を県民に広く認知を促し、情報発信と意識啓発を図ることにより、各家庭におけるエネルギー使用量を効果的に削減・抑制することを目的とする。

## 【目標】

再生可能エネルギー及び省エネルギーの推進に関する基本計画（島根県H27.9月策定）の省エネ行動目標  
 ※キッチン10項目、居室19項目、バス・トイレ9項目、自動車等8項目、買い物3項目、について、  
 行動レベルB、Cのものについては引き上げ、行動レベルAのものについては現状維持を目標とする  
 ※概ね5年ごとにアンケート調査を実施し、成果を把握する

## 2. 概要

(1) 省エネリフォームによるコベネフィットを普及啓発

## 3. 根拠法令等

環境基本法、島根県環境基本条例、地球温暖化対策の推進に関する法律 等

## 4. 事業内容等

既設住宅の省エネルギー化を促進するため、断熱対策などエコリフォームの必要性を、熱エネルギー消費が増加する冬季に、実例をもとに県民に広く情報発信した。

## ①省エネリフォーム研修会「小さなエネルギーで豊かに暮らせる住まい」

概要：家庭のエネルギー消費量を抑えつつ快適に暮らせるパッシブデザインの住宅づくりについて、基礎知識と中古住宅のリフォーム実践例を紹介し、取り組みを促した。

実施日：令和元年10月26日（土）

場所：益田駅前ビルEAGA 3階ホール（益田市駅前町17-1）

参加者数：19名

実施内容：講演「小さなエネルギーで豊かに暮らせる住まい」

野池 政宏氏（Forward to 1985 energy life代表理事）

対談『「古くて寒い家」×「省エネリフォーム」の賢い実例』

永瀬美貴氏（ナガセミキ建築設計事務所）と野池先生による

## ②介護世代のエコリフォーム術「高齢者の健康と住まいの省エネ」

概要：省エネルギー性能が低い既設住宅は、冬季の部屋間の温度差が大きく、ヒートショックなど体調の不調を起こす可能性があることや、高齢者の住み心地を向上させる住宅リフォームの実践例を取り上げ、住宅リフォームの利点を周知した。

実施日：令和元年11月8日（金）

場所：奥出雲町仁多庁舎 ふれあいホール（仁多郡奥出雲町三成358-1）

参加者数：7名

実施内容：講演「高齢者の健康と住まいの省エネ」

宇田川 孝浩（宇田川孝浩建築設計事務所、一級建築士）

## ③DIYでもできる！エコリフォームワークショップ会「DIYでもできる！エコリフォームワークショップ」

概要：一般住宅（築30年）を例に、住宅の断熱性能を高める方法や手順を、地元工務店主を講師に迎え周知した。あわせて1室のガラス戸に断熱加工を施す作業を参加者とともに実施し、作業体験を通じて取り組み実践を促した。

実施日：令和元年11月9日（土）、11月23日（土）、令和2年1月25日（土）

場所：青原公民館、長嶺建設株式会社（ともに鹿足郡津和野町青原）ほか

参加者数：14名

実施内容：講演『「断熱の基本」のキと、小さなエネルギーで豊かに暮らせる住まい』

久保 公宏氏（(株)LIXIL中四国ZEH営業部）

講演『この家が寒い理由とは？』

長嶺 近人氏（長嶺建設株式会社 代表取締役）

ワークショップ『ガラス戸の断熱化』 久保氏、長嶺氏

## 令和元年度 事業報告書

事業名	水鳥による環境保全意識の啓発と湖沼の賢明利用の推進	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	令和元年度
担当部署	環境生活部環境政策課	終了年度	令和5年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p><b>【目的】</b>          宍道湖・中海流域では近年コウノトリの営巣が確認され、トキの分散飼育が軌道に乗り、一般公開が計画されるなど、大型水鳥を中心とする多様な鳥類を身近に感じることができる地域。これら鳥類の多様性を生かした県民の環境保全意識の醸成を図る場として水辺空間の活用を深化し情報発信を行う。</p> <p><b>【目標】</b>          観察会等の参加者数：100名/年</p>
---

## 2. 概要

<p>ラムサール条約に登録されている宍道湖と中海は豊かな自然を有し、多くの水鳥が飛来する水域であり、両湖の環境保全意識の醸成を目的とした野鳥観察会の開催、水鳥や観察風景などのパネル展示やセミナーの開催など普及啓発を行う。</p>
--

## 3. 根拠法令等

環境基本法、島根県環境基本条例 等
-------------------

## 4. 実施内容等

<p>1 野鳥に関する拠点施設での観察会の実施          内容：宍道湖周辺の水鳥観察スポットを巡る水鳥観察会を2回実施。          また、各スポットの観察状況を県ホームページに掲載し周知を図った。          実施日：令和元年12月1日（1日コース）、令和元年12月14日（半日コース）          参加者数：31名/2日間</p> <p>2 環境保全意識啓発のための展示          (1) ラムサール条約登録湿地「宍道湖・中海」普及啓発パネルの製作          宍道湖・中海の環境意識啓発のため、ラムサール条約の目的、宍道湖・中海の賢明利用情報や環境保全活動を掲載したパネルを製作。          ①規格：A1パネル          ②数量：30枚          (2) 展示会を実施          ①集客施設において展示会を実施（2施設）          島根県立図書館（2月7日-3月4日）、島根県民会館（3月24日-4月3日）にて実施。          ②関連イベントに出展（2回）          ・コウノトリやトキと共生するまちづくりシンポジウム時に出展（会場：古代鉄歌謡館、日程：令和元年11月23日）          ・宍道湖・斐伊川環境フェア時に出展（会場：出雲科学館、日程：令和2年2月23日）</p> <p>3 普及啓発・広報          (1) 「宍道湖・中海」の賢明利用啓発リーフレットの作成          県民が気軽に宍道湖・中海に親しめるよう、宍道湖・中海の賢明利用情報が掲載されたリーフレットを作成し、関連施設にて配布した。          作成部数：2,000部          (2) 新聞掲載          宍道湖・中海とラムサール条約の紹介、ならびにコウノトリとトキの情報を新聞掲載し、周知を図った。          掲載紙：山陰中央新報（島根版）          掲載サイズ：全15段カラー</p>
---